

令和6年7月16日

事業主 各位

宮城県高等学校長協会会長 高橋 賢
(宮城県仙台第二高等学校長)

同 就職対策委員会代表幹事 根岸 一成
(宮城県塩釜高等学校長)

宮城県高等学校進路指導研究会会長 川村 高広
(宮城県泉松陵高等学校長)

令和7年3月新規高等学校及び特別支援学校卒業者の
適正な雇用確保と促進について (お願い)

本県高等学校教育の推進につきましては、日頃より格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。令和6年3月卒の新規高等学校卒業者の令和6年4月末時点の就職内定率は99.5%、前年同期を0.4ポイント上回り、就職を希望し未就職となっている卒業生は21名と前年同期より20名減少しました(高校教育課調べ)。また、宮城労働局発表による令和6年3月末の県内求人数は10,962件、就職内定率は99.4%と過去最高となり、企業様からの新規高等学校卒業生への御期待と多大なる御配慮をいただいておりますことに心から感謝を申し上げます。

さて、近年の新規高卒者の就職環境は各企業の御努力と各経済団体様や関係機関の御支援のおかげをもちまして、例年以上の実績を維持しております。今年度は新型コロナウイルス感染症の不安感もおおむね解消され、社会経済活動も活発化し就職活動にも好影響が及んでいます。その一方で、少子高齢化やライフスタイルの多様化がますます加速し、高卒予定者に占める就職希望者数は年々減少傾向にあります。

高等学校長協会といたしまして、将来の地域産業の重要な担い手となる人材の育成を図り、地域貢献という高い志を持った心身ともに健全で有為な人材の育成に努めなければならないとの思いをさらに強くしているところです。また特別支援学校においては現場実習の多様な機会を増やし、技能習得を図りながら卒業後の安定的な雇用や就労につなげていきたい所存です。各企業におかれましても障害のある高校生の雇用促進につきまして、これまで以上の御理解と御支援を賜りたく存じます。

つきましては、令和7年3月の新規高等学校卒業生及び特別支援学校高等部卒業予定者の雇用確保につきまして、格別の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様方の今後ますますの御発展を心よりお祈り申し上げます。